

令和7年度 事業報告

概 要

令和7年度は、梅雨明け以降長期に渡る猛暑が続き、会員の作業中の熱中症が懸念されたため、熱中症対策に力を入れてまいりました。

作業中の「傷害事故」は前年より減少しましたが、蜂さされ、転落・転倒による事故が発生し、「賠償事故」は、昨年なかった飛び石による事故が今年度は数件発生したため、注意喚起による意識改革に努めてまいりました。

また、季節外れのインフルエンザが例年より早期から流行し、感染者が増加傾向にあったため、感染防止の取り組み及び自己管理の呼び掛けをしてきました。

国の動向は、少子高齢化が年々進み、人口減少の一途を辿っています。瀬戸内市においても同様に、生産年齢層の減少と、高齢層が年々増加傾向にあります。

この状況を受けて、瀬戸内市シルバー人材センターでは、高齢者が長年培ってきた経験や知識・技能を生かしながら、地域でいきいきと活躍し、日常生活に密着した就業などで、生きがいの充実と将来にわたり活躍し続ける生涯現役社会の実現に向け、第3次中期変更活動計画に基づき、目標達成に向けて努力してまいりました。

しかしながら、会員の就業機会拡大や会員確保の充実強化を図るなど努力してきましたが、会員は減少し、目標達成には至りませんでした。

事業実績では、一般家庭からの発注は対前年比で増加、公共、企業は減少し、屋内作業としての農園作業も例年より減少した結果、契約件数は前年に対して幾らか回復したものの対前年比で減少、しかし、近年天候の影響による一件当たり作業量の増加、高齢化による作業時間の増加、会員の猛暑時の頑張り等、この結果を受けて契約金額は前年に対して全般で増加し、目標を達成することができました。

また、厚生労働省高齢者雇用対策課より指導があり、目標の4月1日実施に向けて取引先への説明、システムの改良、理事、監事、会員への変更内容周知に仕組み等、早期から準備をしてきました契約方法の変更（包括的契約）への移行を令和7年4月1日より実施しました。

「新しい公益法人制度」による、「公益法人法の改正」により「外部理事・外部監事」の選任、導入が役員改選期より義務付けられ、二名の有識者に就任を依頼し、新たな体勢でセンターの健全な事業運営に取り組んできました。

今後とも、地域社会へ貢献するセンターとして更なる発展のため、瀬戸内市及び関係機関等のご理解と支援を得ながら、基本理念である「自主・自立・共働・共助」に基づき、事務局、役員、会員が一丸となりセンターの充実と安定的な事業運営に取り組んでまいります。

以下、事業の実施状況と事業実績の概要を報告します。

1. 会員の状況

(1) 会員数

男性 108名 女性 63名 計 171名

(2) 事業所別会員数

	男性	女性	計	構成比(%)
邑久事業所	56	39	95	55.5
長船事業所	30	5	35	20.5
牛窓事業所	22	19	41	24.0
合計	108	63	171	100

(3) 会員の年齢構成

	男性	女性	計	構成比(%)
60歳～64歳	1	2	3	1.7
65歳～69歳	18	7	25	14.6
70歳～74歳	30	25	55	32.2
75歳～79歳	40	18	58	33.9
80歳～84歳	17	11	28	16.4
85歳以上	2	0	2	1.2
合計	108	63	171	100

(4) 会員の平均年齢

男性 74.9歳 女性 74.1歳 全体 74.6歳

(5) 会員の移動状況

	男性(人)	女性(人)	計(人)
年度当初会員数	106	68	174
令和7年度	中途入会	5	19
	中途退会	10	22
	差引増減	▲5	▲3
年度末会員数	108	63	171

2. 普及啓発活動について

10月の普及啓発促進月間は、3事業所の会員33名、事務局2名が公共施設を中心に樹木剪定や草刈りのボランティア活動を実施しました。

また、公共施設11箇所へのチラシを配布し、シルバー事業の理念や事業

活動について、PR活動を展開しました。

3. 就業機会の開拓と拡大

「皆で開拓、皆で就業」を基に、就業機会の拡大に努めてきましたが、企業、公共への就業機会の拡大はありませんでした。

(1) 事業実績の総括

区 分	令和7年度	令和6年度	前年対比(%)
受注件数	1,946	1,951	99.7
就業実人員	140	145	96.6
就業延日人員	16,011	15,450	103.6
契約金額	82,076,549	76,575,578	107.1
就業率	81.9	83.3	98.3

4 女子会員拡大、退会会員の抑制

近年滞りがちになっている女性の新入会員の拡大、家庭、健康上の都合上退会される会員さんの抑制策として、女性が楽しく集える場として「カトレア会」を立ち上げ、やってみたいことの意見を聴取し、簡単にできることから始め、会の輪を広げていく取組を始めました。

5. 安全・適正就業の推進

(1) 安全パトロール事業では、今年度は県シルバー人材センター安全・適正就業委員会のパトロール指導があり、連合会指導員と共にパトロールを行い、指導を受けました。

また、センター安全委員による、安全パトロールを3回実施し、改善点の拾い出しを行い、安全就業に取り組みました。

(2) 安全就業の徹底として、事故を未然に防ぐために取り組みましたが、傷害4件、賠償3件の事故が発生しました。今後も引き続き安全パトロール、講習会を実施し、事故減少に向けて取り組んでいきます。

事故発生状況

【傷害事故】

事業所名	発生年月日	事故状況	起因物
長 船	R7. 4. 9	チェーンソー整備・試運転時、他の会員の左足甲部裂傷	チェーンソー
邑 久	R7. 6. 16	草刈り作業後、刈草を処分場へ搬入時、誤って転倒、右顔面、右肩、みぎ膝を強打、右膝関節内側側副靭帯を損傷	その他
牛 窓	R7. 9. 30	草刈り作業中、蜂に後頭部、右肩刺され	蜂
邑 久	R7. 11. 26	樹木枝打ち作業中、コンテナ箱よりバランスを崩し落下、尖った切株で左足裏を裂傷	コンテナ箱

【賠償事故】

邑 久	R7. 7. 23	草刈り作業中、飛び石により駐車中の車の運転席側窓ガラス破損、ドアの一部を損傷	草刈り機
-----	-----------	--	------

牛窓	R7. 9. 8	草刈り作業中、飛び石により隣地家屋網戸に穴開け	その他
牛窓	R7. 10. 28	草刈り作業中、転倒、草刈り機刈刃でサッシ窓ガラスと網戸を損傷	草刈り機

(3)今年度も、センターから家への往復途上、就業移動中の交通事故は発生していません。

しかし、いつ加害者、被害者になる可能性もありますので、交通安全意識の高揚のため、瀬戸内警察署交通課より指導員をお迎えし、3事業所、全会員を対象に「交通安全講習会」を7月に開催しました。参加会員は、3事業所合わせて29名でした。

参加者は、熱心に講義を受講し、運転時に遭遇するであろう色々な場面を想定した例題に取り組み、有意義な講習会ができました。

(4)令和6年度は、なかった飛び石による「賠償事故」が、令和7年度は数件発生し、作業中の「傷害事故」も、「蜂刺され」、「転倒」、「落下」事故が発生しました。

会員さんへの注意喚起、作業中の意識改革を兼ねて、「安全就業推進大会」を「交通安全講習会」と併せて開催しました。

参加会員は3事業所併せて29名で、センターの事故発生状況、県内拠点センター及び全シ協集計の事故発生状況を説明し、注意事項等事故のない安全就業に向けての取り組みを呼び掛けました。

(5)会員さんの中から要望があった、「チェーンソー講習会」を、樹木伐採作業に就業している会員さんを対象に、講師をお招きし開催しました。

当日はあいにくの雨天で、会議室においてチェーンソー使用前の準備、始動時、使用中の注意事項、使用後の管理・保管方法について説明を聞き、参加会員さんからも日頃の管理、注意事項について色々質問がされ、有意義な講習会になりました。

尚、予定していた樹木の切断等の実技講習は、後日、改めて日程を決め、開催予定としました。

参加会員は、3事業所合わせて16名（邑久…5名、牛窓…6名、長船…5名）でした。

6. 一般労働者派遣事業（シルバー派遣）の推進

今年度は、当初5事業所へ15名の派遣体制で実施しましたが、1名の会員さんより健康の都合上派遣辞退の申し出があり、14名になりました。

今後も、新たな派遣事業の拡大に向けて取り組んでまいります。

派 遣 先	概 要	派遣人数
瀬戸内記念病院	宿直業務	7
市クリーンセンターかもめ	不燃粗大選別業務	4
社会福祉法人 誠和	介護助手業務	1
(株)ナガラ岡山工場	プレハブの掃除	1
ミツエダ(株)長船工場	事業所内清掃	1
計		14

7. 生活支援事業（ちょいてご）の拡大

生活支援事業（ちょいてご）の実施状況は、発注者5人で、依頼件数は322件となりました。依頼件数の中では朝のゴミ出し件数が多く、次に代行業務（薬の受け取り、買い物）が上位を占めています。

さらに、日常生活の中でちょっとした困りごとの相談に対応するために

会員の拡大、周知活動推進に取り組んでまいります。

実績

	邑久	長船	牛窓	計
発注者	0	1	4	5
受注件数	0	53	269	322

令和7年度 各種会議・研修会開催

(1) 総会・理事会等

開催年月日	会議等の名称	内 容 等
令和7年5月9日	第1回理事会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和7年度 定時総会招集の件 ・ 正会員の入会承認の件
令和7年6月3日	連合会 第1回 理事会	
令和7年6月6日	令和7年度 定時総会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 監査報告・事業報告の件 ・ 収支決算の件・役員選任の件
令和7年6月6日	第2回理事会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 理事長、副理事長の選任の件
令和7年6月18日	令和7年度 連合会 定時総会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和7年度連合会定時総会
	連合会 第2回 理事会	
令和7年9月12日	第3回理事会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業報告、事業実績の件 ・ 正会員の入会承認の件 ・ 役員報酬等及び費用に関する規程の改正の件
令和7年10月21日	第4回理事会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業実績の件 ・ 中間監査の件 ・ 正会員の入会承認の件 ・ 普及啓発促進月間の件
令和7年11月7日	連合会 第3回 理事会	
令和8年1月23日	第5回理事会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業報告、事業実績の件 ・ 正会員の入会承認の件
令和8年3月13日	連合会 第4回 理事会	
令和8年3月16日	第6回理事会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業報告、事業実績の件 ・ 令和8年度 事業計画(案)、収支予算(案)の件 ・ 令和8年度 決算見込みの件 ・ 令和8年度 総会の件

(2) 監査等

開催年月日	会議等の名称	内 容 等
令和7年5月7日	シルバー監査	令和6年度 決算監査 (監事)
令和7年5月8日	外部監査	令和6年度 決算監査 (平木税理士事務所)
令和7年10月7日	シルバー監査	令和7年度 中間監査 (監事)

(3) 安全適正就業委員会・来訪状況

開催・来訪日	会議・研修会名	内 容 等
令和7年5月9日	第1回安全・適正就業委員会	令和7年度事業計画及び県連安全パトロール 令和6年度事故発生状況の件
令和7年5月28日	第1回安全委員会パトロール	作業状況把握 (牛窓事業所)

令和7年7月8日	第1回安全・適正就業委員会委員、推進員合同会議	(県連合会)令和7年度事業計画、令和6年度事故発生状況 他
令和7年8月19日	第1回県安全・適正就業委員会パトロール指導	作業状況視察、現地指導(邑久事業所)
	第2回安全委員会パトロール	作業状況把握(邑久事業所)
令和7年9月12日	第2回安全・適正就業委員会	事故発生状況の件、安全パトロールの件 県安全・適正就業委員会、推進員合同会議の件 交通安全講習会、安全就業推進大会の件
令和7年10月21日	第3回安全委員会パトロール	作業状況把握(牛窓事業所)
令和7年11月5日	交通安全運転管理者講習	リモート会議
令和7年12月4日	第2回安全・適正就業委員会委員、推進員合同会議	安全就業徹底の件
		県内センター事故発生状況の件 事例発表(センター安全・適正就業取組)の件
令和8年1月23日	第3回安全・適正就業委員会	事故発生状況の件、安全パトロールの件 県安全・適正就業委員会、推進員合同会議の件
令和8年3月16日	第4回安全・適正就業委員会	事故発生状況の件、令和8年度事業計画の件 令和8年度安全パトロールの件

(4) 全シ協・中国ブロック・県連合会他連絡協議会等

開催・来訪日	会議・研修会名	内 容 等
令和7年6月11日	第1回 事務局長会議	おかやま西川原プラザ
令和7年6月27日	派遣実務研修会	おかやま西川原プラザ
令和7年9月10日	会員拡大・就業開拓担当者会議	オンライン講習
令和7年9月19日	派遣元責任者講習	大阪市
令和7年9月24日	令和7年度初任者等会計経理・税務業務研修会	おかやま西川原プラザ
令和7年10月16日	第2回 事務局長会議	おかやま西川原プラザ
令和7年10月27日～28日	中国ブロック役職員研修会	広島ガーデンパレス
令和7年12月2日	岡山労働局定期指導	瀬戸内市シルバー 会議室
令和7年12月11日	公益法人会計基準の改正に係る研修会	おかやま西川原プラザ
令和8年1月15日	中堅職員等による先進地視察研修に係る報告会	おかやま西川原プラザ
令和8年1月29日	新たな契約方法における会計仕訳研修	おかやま西川原プラザ
令和8年2月4日	第3回 事務局長会議	おかやま西川原プラザ
令和8年2月6日	福祉・家事援助サービス事務担当職員等研修会	おかやま西川原プラザ

令和8年3月25日	第4回 事務局長会議	おかやま西川原プラザ
-----------	------------	------------

(5) 拠点講習会・交流会 他

開催・来訪日	会議・研修会名	内 容 等
令和7年6月9日	こけ玉教室	瀬戸内市シルバー人材センター会議室
令和7年7月16日	派遣会員教育研修	瀬戸内市シルバー（派遣についての注意事項）
令和7年7月25日	交通安全講習会 安全就業推進大会	瀬戸内市中央公民館 多目的ホール
令和7年8月21～22日	襖・障子・網戸張替講習	瀬戸内市シルバー人材センター会議室
令和7年9月9日	デコパージュ教室	瀬戸内市シルバー人材センター会議室
令和7年9月10～12日	庭木のお手入れ講習(剪定講習)	長船ゴルフ場
令和7年12月2日	ガーデニング教室(季節の寄せ植え)	瀬戸内市シルバー人材センター会議室
令和8年2月27日	おしゃべり会（女性会員の集い）	瀬戸内市シルバー人材センター会議室
令和8年3月18日	チェーンソー講習会	瀬戸内市シルバー人材センター会議室

貸借対照表

令和 8年 3月31日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	7,422,702	8,281,267	△858,565
未収金	2,506,281	7,178,814	△4,672,533
立替金（新契約）	1,282,256	0	1,282,256
流動資産合計	11,211,239	15,460,081	△4,248,842
2. 固定資産			
(1)特定資産			
資産取得資金積立資産	15,773,445	14,970,378	803,067
特定資産合計	15,773,445	14,970,378	803,067
(2)その他の固定資産			
建物	72,316	522,381	△450,065
車輛運搬具	687,754	945,656	△257,902
什器備品	538,909	9	538,900
預託金	116,870	116,870	0
その他の固定資産合計	1,415,849	1,584,916	△169,067
固定資産合計	17,189,294	16,555,294	634,000
資産合計	28,400,533	32,015,375	△3,614,842
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	1,727,866	6,901,888	△5,174,022
前受金	318,487	456,784	△138,297
預り金	1,813,234	63,851	1,749,383
流動負債合計	3,859,587	7,422,523	△3,562,936
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	3,859,587	7,422,523	△3,562,936
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	0	0	0
2. 一般正味財産	24,540,946	24,592,852	△51,906
(うち基本財産への充当額)			0
(うち特定資産への充当額)	15,773,445	14,970,378	803,067
正味財産合計	24,540,946	24,592,852	△51,906
負債及び正味財産合計	28,400,533	32,015,375	△3,614,842

正味財産増減計算書

令和 7年 4月 1日から令和 8年 3月 31日まで

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受託事業収益	1,238,999	76,577,798	△75,338,799
受取配分金	1,076,940	57,836,551	△56,759,611
受取材料費等	34,604	10,253,652	△10,219,048
受取事務費	127,455	8,487,595	△8,360,140
包括的契約に係る収益	19,251,962	0	19,251,962
受取センタ-業務委託料	9,304,164	0	9,304,164
受取材料費等	9,947,798	0	9,947,798
労働者派遣事業等受託収益	984,931	1,073,863	△88,932
労働者派遣事業等受託収益	984,931	1,073,863	△88,932
受取会費	171,000	174,000	△3,000
正会員受取会費	171,000	174,000	△3,000
受取補助金等	16,397,000	16,443,000	△46,000
受取連合交付金	7,858,000	7,904,000	△46,000
受取市(区)町村補助金	8,539,000	8,539,000	0
雑収益	477,988	382,233	95,755
受取利息	39,728	11,701	28,027
雑収益	438,260	370,532	67,728
経常収益計	38,521,880	94,650,894	△56,129,014
(2) 経常費用			
事業費	36,208,398	92,894,131	△56,685,733
支払配分金	1,076,940	57,836,551	△56,759,611
支払材料費等	0	7,044,086	△7,044,086
支払材料費等(包括的契約に係るもの)	7,147,511	0	7,147,511
役員報酬	432,000	432,000	0
給与手当	4,684,165	4,647,113	37,052
臨時雇賃金	4,374,874	3,436,716	938,158
法定福利費	1,849,962	1,751,024	98,938
退職給付費用	129,600	129,600	0
会議費	37,192	20,225	16,967
福利厚生費	0	0	0
役員旅費交通費	1,210,000	1,244,000	△34,000
旅費交通費	308,120	278,035	30,085
通信運搬費	786,501	770,523	15,978
減価償却費	803,067	568,698	234,369
什器備品費	489,825	802,090	△312,265
消耗品費	416,668	288,566	128,102
修繕費	440,090	808,225	△368,135
印刷製本費	215,490	243,760	△28,270
光熱水料費	902,111	909,708	△7,597
賃借料	2,904,707	2,794,908	109,799

科目	当年度	前年度	増減
保険料	1,239,772	1,256,249	△16,477
諸謝金	4,577,876	4,394,762	183,114
租税公課	687,500	1,775,250	△1,087,750
委託費	1,292,440	1,172,358	120,082
支払手数料	190,104	282,421	△92,317
貸倒損失	0	0	0
雑費	11,883	7,263	4,620
管理費	2,365,388	2,343,134	22,254
役員報酬	48,000	48,000	0
給与手当	883,802	879,685	4,117
法定福利費	144,674	145,986	△1,312
退職給付費用	14,400	14,400	0
会議費	9,466	8,752	714
役員旅費交通費	150,000	114,000	36,000
通信運搬費	47,077	45,320	1,757
消耗品費	23,594	27,521	△3,927
印刷製本費	18,150	21,560	△3,410
光熱水料費	23,220	23,144	76
賃借料	303,132	301,296	1,836
支払負担金	260,000	240,000	20,000
委託費	418,113	447,770	△29,657
支払手数料	8,760	2,200	6,560
雑費	13,000	23,500	△10,500
経常費用計	38,573,786	95,237,265	△56,663,479
評価損益等調整前当期経常増減額	△51,906	△586,371	534,465
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△51,906	△586,371	534,465
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産売却損	0	0	0
車両運搬具売却損	0	0	0
固定資産除却損	0	1	△1
車両運搬具除却損	0	1	△1
経常外費用計	0	1	△1
当期経常外増減額	0	△1	1
当期一般正味財産増減額	△51,906	△586,372	534,466
一般正味財産期首残高	24,592,852	25,179,224	△586,372
一般正味財産期末残高	24,540,946	24,592,852	△51,906
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	24,540,946	24,592,852	△51,906

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

減価償却資産について、定額法により直接減価償却を実施している。

(2) 消費税の会計処理

消費税の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減及びその残高

基本財産及び特定資産の増減及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産	0	0	0	0
小 計	0	0	0	0
特定資産				
資産取得資金積立資産	14,970,378	803,067	0	15,773,445
小 計	14,970,378	803,067	0	15,773,445
合 計	14,970,378	803,067	0	15,773,445

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債額に 対応する額)
特定資産				
資産取得資金積立資産	15,773,445	(0)	(15,773,445)	
小 計	15,773,445	(0)	(15,773,445)	(0)
合 計	15,773,445	(0)	(15,773,445)	(0)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は次のとおりである。

(単位:円)

科目	件数	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	1	1,347,500	1,275,184	72,316
車輛運搬具	15	12,273,639	11,585,885	687,754
什器備品	10	3,451,285	2,912,376	538,909
合計	25	17,072,424	15,773,445	1,298,979

(注) 上記の車輛運搬具の内、引き継いだもの内訳

取得額	0	円
減価償却累計額	0	円
当期末残高	0	円

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
運営補助金	連合	0	7,858,000	7,858,000	0	
運営補助金	瀬戸内市	0	8,539,000	8,539,000	0	
合計		0	16,397,000	16,397,000	0	

財 産 目 録
令和8年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
	現金	手元保管	運転資金として	0
	預金	普通預金中国銀行邑久支店	運転資金として	6,011,572
		普通預金中国銀行邑久支店 (決済用)	運転資金として	0
		普通預金備前信用金庫邑久支店	運転資金として	1,001,669
		普通預金ゆうちょ銀行	運転資金として	337,450
		ゆうちょ銀行振込口座		72,011
	未収金		作業代金	69,280
			派遣収益	984,931
			その他	199,300
			新契約	1,252,770
	立替金		新契約	1,282,256
流動資産合計				11,211,239
(固定資産)				
特定資産	資産取得資金 積立	普通預金中国銀行邑久支店	資産取得資金として管理されている預金	15,773,445
その他の 固定資産	建物	ユニットハウス	公益目的保有財産であり、 シルバー人材センター事業に使用している	72,316
	車輛運搬具	軽トラック 12台	公益目的保有財産であり、 シルバー人材センター事業に使用している	687,751
		軽四バン 3台	公益目的保有財産であり、 シルバー人材センター事業に使用している	3
	什器備品	エアコン 2台	公益目的保有財産であり、 シルバー人材センター事業に使用している	2
		冷蔵庫 1台	公益目的保有財産であり、 シルバー人材センター事業に使用している	1
		パソコン 1台	うち公益目的保有財産として 使用する財産88%	1
			うち管理目的として 使用する財産12%	0
		ハンマーナイフ 5台	公益目的保有財産であり、 シルバー人材センター事業に使用している	538,904
		物置一式	公益目的保有財産であり、 シルバー人材センター事業に使用している	1
	預託金	自動車リサイクル料金	公益目的財産であり、 シルバー人材センター事業に使用している	116,870
固定資産合計				17,189,294
資産合計				28,400,533
(流動負債)				
	未払金	作業代金	シルバー人材センター事業に供する 未払い金額等	1,727,866
	預り金	職員源泉税等	職員からの源泉所得税、社会保険料、 雇用保険料預り金	68,026
		会員		1,745,208
	前受金	個人の前受金		318,487
流動負債合計				3,859,587
(固定負債)				0
固定負債合計				0
負債合計				3,859,587
正味財産				24,540,946

令和8年度 事業計画

基本方針

令和7年度は、実施予定で早期から準備を進めて来た新たな契約方法である「包括的契約」への移行実施、法人運営が特定の者だけで行われる法人の私物化防止、理事会運営の活性化を目的に改正された「公益法人法の改正」により「外部理事、外部監事」の選任、導入に取り組んでまいりました。

我が国の動向は、少子高齢化により、生産年齢人口は年々減少し、元気で就労意欲があり、豊富な経験と知識を持つ65歳以上の高齢者人口は、年々増加の一步を辿っています。

国の政策である「働き方改革」による「生涯現役社会」の実現に向けて、定年年齢65歳までの引き上げ義務化の導入、これに続き70歳までの定年年齢延長が努力義務化され、また定年制の廃止、生涯雇用などの国の指導、それに伴い年金の支給年齢の引き上げなどにより、経済上、生きがい、健康面など様々な理由により、高齢者の就業意欲は高くなっています。

このような現況により、いきいきと活躍する場の受け皿として、シルバー人材センターへの期待は益々大きくなっています。

瀬戸内市シルバー人材センターは、高齢者が長年培ってきた経験や知識・技能を生かしながら、地域でいきいきと活躍し日常生活に密着した就業などで、生きがいの充実と将来にわたり活躍し続けることのできる社会の実現に向け、市民に親しまれ、信頼され、再度ご指名されるシルバーであるよう、より一層努力することが重要となっています。

そのため、当センターとしては、更なる地域社会の担い手として事務局、役員、会員それぞれが社会の現状に目を向け、協力し、知恵を出し合い、近年増加しつつある会員退会者の抑止策の検討、滞りがちになっている新入会員の確保方法の検討、就業機会拡大等の充実強化を図るなど、第3次中期活動変更計画の目標達成に向けて事業運営に努めてまいります。

また、引き続き、厚生労働省の方針により、契約の見直し（包括的契約）がより円滑に進むよう、職員、理事会努力を重ねてまいります。

公益法人法の改正により、「外部理事」、「外部監事」の導入が義務付けられ、センターにおいても2名の有識者に外部理事、外部監事への就任を依頼し、新たな体勢でセンターの健全な運営に取り組んできましたが、より一層取り組みを進めてまいります。

長船事業所の本移転という課題におきましても、市長の交代により、再度交

渉が必要と思われ、継続交渉を続け、発注者への利便性を一番に考慮し、一日でも早く候補地決定、移転できるよう、行政と交渉を進めてまいります。

これからも、センターの理念を忘れることなく、瀬戸内市及び関係機関等のご理解とご支援を得ながら、地域社会へ貢献するセンターとして、基本理念である「自主・自立・共働・共助」に基づき、一丸となりセンターの充実と安定的な事業推進に努めてまいります。

事業実施計画

1. 普及啓発活動の推進

- (1) シルバー事業の意義、理念、事業活動を地域社会へ色々な方法で周知し、事業の発展・拡充のためあらゆる機会を通じて普及啓発活動を積極的に行います。
- (2) 市の広報誌掲載を今まで以上に活用しPR活動を推進し、会員拡大に取り組みます。
- (3) 地域イベントへ参加し、シルバー事業への理解と周知のため推進員と共にリーフレット等を配布し、普及啓発活動に努めます。
- (4) 地域社会への貢献策として、普及啓発促進月間（10月）に実施してきた三事業所による公共施設へのボランティア活動を、少しでも多くの会員さんが参加できる活動への変更を検討し、より普及啓発活動に努めます。

2. 就業機会の開拓と拡大

- (1) 年々増加する空き家対策等、多様化する就業ニーズに対応するため、公共団体、民間企業、一般家庭への広報活動を行い、会員の就業について理解を求め、就業機会の開拓と拡大に努めます。
- (2) 新規就業の呼びかけやリーフレットの配布等により就業開拓を行うと共に、受注先においては新たな就業メニューの開拓や量的拡大に努めます。
- (3) 信頼される仕事やボランティア活動の下、シルバー事業を推進し「皆で開拓、皆で就業」を基に、質の高いサービスを提供することとします。
- (4) 役職員による企業等への継続的な声掛け活動を行います。

3. 安全・適正就業の推進

令和7年度は、例年より「蜂刺され」、「転落・転倒」による傷害事故が多く発生しました。

就業にあたっては、「安全は全てに優先する」をモットーに、安全委員会を中心に安全・適正事業計画に基づき事業を実施するとともに、会員が自己管理能力を養いつつ自らの安全を守るための知識の習得に努めます。

(1) 事故を未然に防ぐために、安全就業と会員の健康管理を徹底する等組織的に取り組みます。

(2) 就業前の打ち合わせ、就業場所に潜んでいる危険箇所の着手前の見回りの徹底、習慣付けに取り組みます。

安全・適正就業委員による就業現場パトロールを、昨年引き続き実施し、改善点の対応とともに安全用器具の使用を徹底します。

(4) 公平・適正な就業機会の提供が図られるよう努めます。

(5) 技能・技術向上のため、研修会や各種講習会に積極的に参加するとともに、センター主催の講習会を会員さんより希望アンケートをとり、計画します。

4. 事務局機能について

事務処理の効率化を図り、社会の変化に対応できるよう、研修会等への参加により職員の資質向上を図り、事務局機能強化に努めます。

5. 一般労働者派遣事業（シルバー派遣）の推進について

会員の多様な働き方の選択肢と就業機会を拡大するため、更に派遣事業を推進します。

6. 財政運営と組織体制の充実の推進について

センターの健全で安定した事業運営を推進していくために、各事業所と事務局の連携強化に努めます。

7. 公益社団法人の活動について

シルバー事業は、法令に基づく適正な財政運営、社会に対する情報開示など公益法人として様々な要件が求められます。

そのため、役職員を始め会員がそれぞれの役割を十分認識し、社会的信用を維持しつつ、会員の健康寿命を延ばし、生きがいと心豊かな集団、そして地域創生の原動力となるよう更に公益性のある事業推進を図ります。

令和8年度収支予算書

令和8年4月1日から令和9年3月31日まで

科 目	予算額	前年度予算額	増減	備考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
受託事業収益	1,216,000	0	1,216,000	
受取配分金	1,060,000	0	1,060,000	
受取材料費等	30,000	0	30,000	
受取事務費	126,000	0	126,000	
包括的契約に係る収益	18,800,000	19,446,000	△ 646,000	
受取センター業務委託料	9,200,000	9,000,000	200,000	
受取材料費等	9,600,000	10,446,000	△ 846,000	
労働者派遣事業等受託収益	882,000	942,000	△ 60,000	
労働者派遣事業等受託収益	882,000	942,000	△ 60,000	
受取会費	185,000	185,000	0	
正会員受取会費	185,000	185,000	0	
受取補助金等	16,372,000	16,397,000	△ 25,000	
受取連合交付金	7,833,000	7,858,000	△ 25,000	
受取市(区)町村補助金	8,539,000	8,539,000	0	
雑収益	409,000	380,000	29,000	
受取利息	39,000	10,000	29,000	
雑収益	370,000	370,000	0	
経常収益計	37,864,000	37,350,000	514,000	
(2) 経常費用			0	
事業費	37,791,000	38,408,000	△ 617,000	
支払配分金	1,060,000	0	1,060,000	
支払材料費等	0	0	0	
支払材料費等(包括的契約に係るもの)	7,000,000	10,446,000	△ 3,446,000	
役員報酬	432,000	432,000	0	
給料手当	4,773,000	4,684,000	89,000	
臨時雇賃金	5,619,000	3,579,000	2,040,000	
法定福利費	2,054,000	1,701,000	353,000	
退職給付費用	130,000	130,000	0	
会議費	37,000	18,000	19,000	
役員等旅費交通費	1,228,000	1,482,000	△ 254,000	
旅費交通費	258,000	210,000	48,000	
通信運搬費	745,000	677,000	68,000	
減価償却費	457,000	923,000	△ 466,000	
什器備品費	480,000	400,000	80,000	
消耗品費	300,000	170,000	130,000	
修繕費	365,000	400,000	△ 35,000	
印刷製本費	162,000	140,000	22,000	

科 目	予算額	前年度予算額	増減	備考
光熱水料費	947,000	865,000	82,000	
賃借料	2,943,000	2,902,000	41,000	
保険料	1,342,000	1,252,000	90,000	
諸謝金	4,593,000	4,509,000	84,000	
租税公課	1,276,000	2,250,000	△ 974,000	
委託費	1,335,000	994,000	341,000	
支払手数料	248,000	237,000	11,000	
雑費	7,000	7,000	0	
管理費	2,432,000	2,406,000	26,000	
役員報酬	48,000	48,000	0	
給料手当	890,000	884,000	6,000	
法定福利費	144,000	142,000	2,000	
退職給付費用	15,000	15,000	0	
会議費	9,000	9,000	0	
役員等旅費交通費	206,000	230,000	△ 24,000	
通信運搬費	39,000	36,000	3,000	
消耗品費	32,000	30,000	2,000	
印刷製本費	20,000	20,000	0	
光熱水料費	24,000	23,000	1,000	
賃借料	308,000	303,000	5,000	
支払負担金	260,000	240,000	20,000	
委託費	419,000	408,000	11,000	
支払手数料	3,000	3,000	0	
雑費	15,000	15,000	0	
経常費用計	40,223,000	40,814,000	△ 591,000	
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 2,359,000	△ 3,464,000	1,105,000	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	△ 2,359,000	△ 3,464,000	1,105,000	
2. 経常外増減の部			0	
(1) 経常外収益			0	
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用			0	
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額			0	
当期一般正味財産増減額	△ 2,359,000	△ 3,464,000	1,105,000	
一般正味財産期首残高	24,592,852	21,521,737	3,071,115	
一般正味財産期末残高	22,233,852	18,057,737	4,176,115	
II 指定正味財産増減の部			0	
当期指定正味財産増減額	0		0	
指定正味財産期首残高	0		0	
指定正味財産期末残高	0		0	
III 正味財産期末残高	22,233,852	18,057,737	4,176,115	

収支予算書に係る注記

1. 投資活動及び財務活動に関する見込

	予算額	前年度予算額	増減
【投資活動の部】			
〈投資活動収入〉			
投資活動収入計	0	0	0
〈投資活動支出〉			
投資活動支出計	0	0	0
【財務活動の部】			
〈財務活動収入〉			
財務活動収入計	0	0	0
〈財務活動支出〉			
財務活動支出計	0	0	0

2. 収支予算書

収支予算書は、公益法人基準(平成20年4月11日内閣府公益認定等委員会)及び公益法人会計基準の運用指針に基づいて作成している。

3. 前年度予算額

前年度予算額は、当年度予算額の科目に対応させて組み替えて表示している。

4. 借入金限度額

短期借入金限度額は、5,000千円とする。

5. 配分金収入の増加に連動する収入や支出(配分金支出・材料費等支出)に限り

予算額を超えて執行することができる。